

施設用ピワとしての「長崎早生」の特性

農業研究センター 天草農業研究所

研究のねらい

ピワ栽培の生産安定、早期出荷、果実品質の向上からハウス栽培が定着しつつある。そこで、施設用ピワ品種として熟期、果実品質、障害果の発生から検討を加え、選定を行った。

研究の成果

1. 熟期、果形、大きさ、果実品質、障害果の発生程度など総合的にみて施設用ピワ品種としては「長崎早生」が有望である。
2. 収穫期は3月上旬～4月中旬で「天草早生」「森尾早生」よりやや遅く「長尾早生」「室戸早生」より早い。
3. 果実大きいは1果重50～55gで比較的に大きく、果形指数80程度、果形、玉揃いともに良い。
4. 果実糖度は13度台で高く、肉質は硬度370g / c m²程度で柔らかく、多汁である。
5. 障害果は果頂部(ヘソ)が開き、ヘソ黒、ヘソ青症に弱い、紫斑症には比較的強く、全般的に少ない。
6. 栽培管理の留意点としては樹勢が強く、樹姿が直立性で、枝がやや少なく長大なため誘引を行い樹勢を安定させる。

表1 開花と収穫期

開 花 期					収 穫 期				
9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
		長崎早生				長崎早生			
	天草早生					天草早生			
		森尾早生					森尾早生		
			長生早生					長生早生	
				室戸早生				室戸早生	

表2 果実品質

項目 品 種	1果重 (g)	果肉歩合 (%)	種子数 (個)	糖 度	リンゴ酸	果肉硬度
長崎早生	56.7	69.7	3.7	13.0	0.53	374
天草早生	47.8	69.0	3.8	13.4	0.83	400
森尾早生	48.2	67.8	4.3	12.2	0.88	460
長生早生	78.5	71.9	4.7	11.1	0.73	490
室戸早生	82.7	62.8	3.1	10.9	0.73	462

表3 障害果調査

品 質	調査果数	無	紫斑症	朽木症	ハ黒	シビ果	裂果
長崎早生	60	53	0	2	3	0	2
天草早生	60	47	3	3	3	4	4
森尾早生	60	48	4	4	2	3	3
長生早生	60	55	3	0	2	0	0
室戸早生	60	53	2	3	0	0	2

注) 袋はもぎみどりT・34軽以上の果数

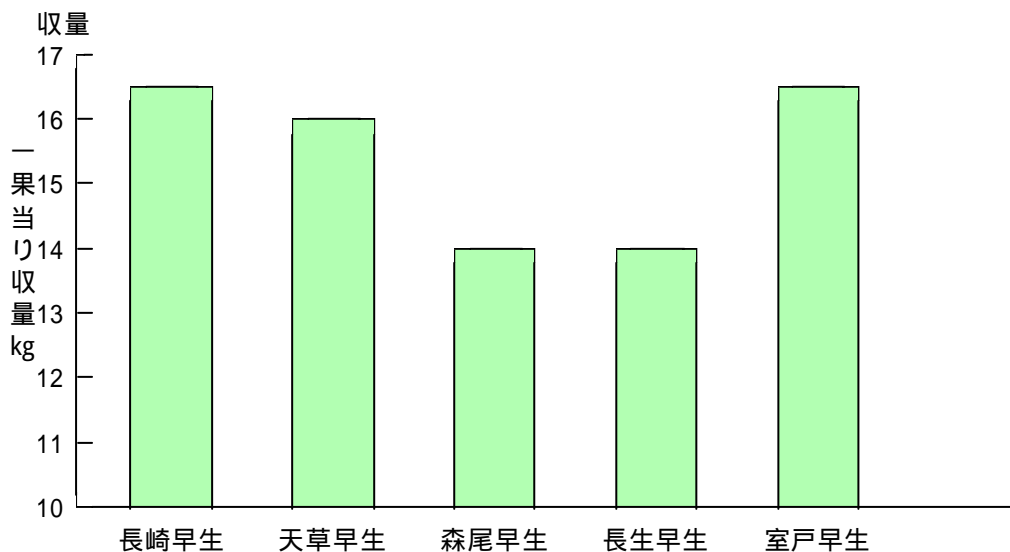


図1 6～7年生時の平均